

「野生生物と社会」学会・財政健全化に向けてのご寄付への御礼

会員の皆様には、日頃より「野生生物と社会」学会の諸活動に対しまして鋭意ご協力等を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、昨年度の第 20 回犬山大会の総会におきまして、誠に僭越ではありましたが標記のご寄付をお願いいたしましたところ、会員の皆様より多くの温かいご協力が寄せられました。ここにご寄付を賜りました会員各位に対しまして、衷心より感謝し御礼を申し上げる次第であります。

当学会の懸案であり続けました「財政健全化」につきましては、昨年度の総会におきまして、「収入の向上」としまして、新たな会員の獲得・学会誌広告枠の新設・WF 誌バックナンバーの販売、更には会員の皆様へのご寄付のお願い等々に取り組む旨、ご報告をいたしました。

「新たな会員の獲得」では、会員はもとより、永年会員が不在でありました賛助会員について新たに特典等を整理するなどしまして、理事はもとより学会が一丸となりまして鋭意、新規会員の獲得につとめて参りました。その結果、直近の 5 年間の会員数約 470 名に対しまして、現在の会員数は 510 名（9 月末）となり久しぶりに 500 名の大台を超えるに至りました。これもひとえに会員各位のご尽力、ご協力の賜物と深謝申し上げます。

昨年来、当学会一丸となりましての財政健全化に向けた様々な取り組みの結果、お蔭様で懸案でありました「健全な財政」へと歩を進めることができました。今後とも、当学会の「知のプラットフォーム」を支える健全な財政基盤造りに、鋭意取り組んでゆく所存です。

最後になりますが、このたびのご寄付の呼びかけに対しましては、多くの会員各位より心温まるご協力をいただきました。ここに重ねまして、心より感謝しお礼を申し上げます。誠に有難うございました。

会員の皆様におかれましては、どうぞ今後とも学会運営等にご理解・ご協力を賜りまじょうお願い申し上げます。お礼のご挨拶とさせていただきます。

平成 27 年 11 月

「野生生物と社会」学会
会長 赤坂 猛